

新体育館について（地域開発特別委員会）

地域開発特別委員会の報告では、今年度の活動報告とともに、これまでの「体育館の問題」の経過についても、議会としての立場から関係資料に沿って報告しました。

1. 今年度の活動報告（市民アンケートについての検討）

- 新体育館建設の市民アンケート実施に向け、市より「住民の多様な意見を聴取し、議会と協議のうえ方向付けをしていきたい」との説明を受け、3回にわたり委員会を開催し市の当初案について検討。
- 対象は、「全体からの無作為抽出」とし、年齢の上限をなくすよう求め、内容については、誘導的にならず、答え易くなるよう、添付資料の整理を行う事、自由記述欄を十分確保すること等を求めました。

2. 「体育館問題」の経過と、議会としてのかかわりについての報告

- 平成18年2月、市議会へ「多目的体育館の早期建設に関する請願」提出を受け、同3月定例会で請願を趣旨採択。
- 塩尻市が設置した、体協、区長会などの識見者と公募の市民で構成する「体育館建設研究委員会」からの平成21年1月の最終答申（第1候補地を中央スポーツ公園エリアとし、規模8,200㎡以内など）を受け、同3月定例会に提出の平成21年度予算案（同所を体育館建設の第1候補地として測量調査を行うための予算）について、担当委員会では、議論の結果、この調査費をなくす予算の修正案を可決。
- 3月定例会最終日、本会議でこの修正案についての賛否が問われ、記名投票の結果、1票差で修正案は否決。調査費は原案どおり計上されることに。同時に「予算執行は、

より慎重を期し、調査内容の精査、議会、市民の合意のもとに…」などとする付帯決議を可決。

- 平成21年6月～9月、新体育館建設の第1候補地の測量調査について地域開発特別委員会で検討。結論を出すに至らず、審議のなかで出された主な意見を付記した意見書を議長に提出。
- 以降議会では、一般質問、代表質問などで議論を重ね、市が行う市民アンケートに対し、地域開発特別委員会での内容検討などを通じ、議会としての意見を反映させてきました。